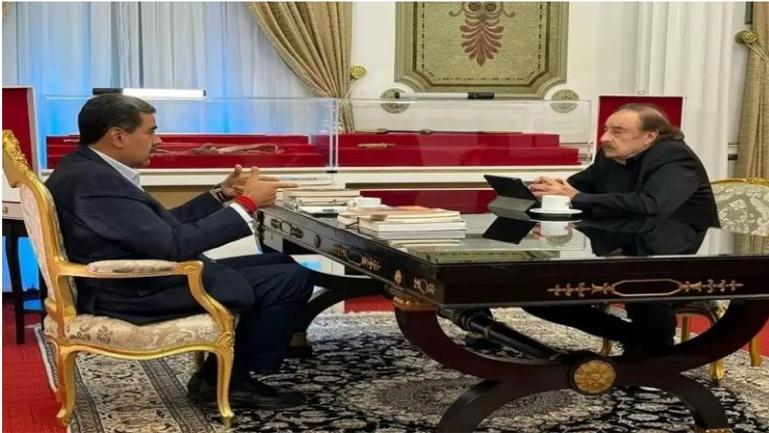


マドゥーロ大統領：

ベネズエラは、激動する世界における民主主義と安定の灯台

<https://www.telesurtv.net/presidente-maduro-venezuela-es-un-faro-de-democracia-y-estabilidad-en-un-mundo-turbulento/>

出所：テレスール、2015年1月1日



ニコラス・マドゥーロとイグナシオ・ラモネ

ニコラス・マドゥーロ大統領は、ひどい制裁と経済戦争にもかかわらず、達成された感動的な数字を引用して、ベネズエラの目覚ましい回復を強調しました。

写真：ラ・ホルナダ

2025年1月1日 15:15

マドゥーロ大統領は、ラテンアメリカにおける左派政権の復活について楽観的な見方を示し、団結と協力の促進におけるポリーバル的米州ポリーバル同盟・諸国民貿易条約（ALBA-TCP）やラテンアメリカ・カリブ海諸国共同体（CELAC）といった地域統合イニシアチブの重要性を強調しました。

ベネズエラのニコラス・マドゥーロ大統領は、著名なジャーナリストのイグナシオ・ラモネ氏との独占インタビューに応じ、国内政治、経済、テクノロジーと社会（特にソーシャル・ネットワーク）、国際政治などについて議論しました。

対話の中で、大統領は、経済的繁栄と社会的公正の拡大への道筋を描きながら、ベネズエラは、外的圧力と内的脅威に挑戦する、台頭しつつある国であると述べました。

イグナシオ・ラモネ：大統領、新年おめでとうございます。

ベネズエラ・ボリーバル共和国大統領、ニコラス・マドゥーロ：おめでとうございます。

イグナシオ・ラモネ：そして一方では、年初にこのような会見を始めて以来、恒例となったインタビュー第 10 回目となるこのインタビューにご快諾いただいたことに感謝申し上げます。先週、フランスの週刊誌などで、私を批判する記事が掲載され、特に、私が毎年年初にインタビューをするジャーナリストであることに焦点が当てられていました。

ニコラス・マドゥーロ：彼らは、インタビューを恐れているのですね。

イグナシオ・ラモネ：ええ、とても率直な会話だからでしょうか。

ニコラス・マドゥーロ：彼らが隠している真実を話すからです。そして、10 年続けた 10 回のインタビューを調べてみると、過ぎ去った年について私たちが言ったこと、そして来る年の予測を検討することができます。

イグナシオ・ラモネ：このインタビューは、毎回、終わった年を振り返り、新しい年への展望を開くという性格も持っています。

ニコラス・マドゥーロ：私たちは議論を行いますので、私たちと、議論を始めるのが嫌いな人がいます。私たちは議論がとても好きで、思想についての議論、多くの操作に対抗する真実の戦いが好きなのです。それゆえ、こうした機会を設けていただいたあなたに感謝しています。このインタビューが行われれば、書面で刊行されます。それは別の世紀、別の世界です。



イグナシオ・ラモネ：別の世界ですね。

ニコラス・マドゥーロ：今は、こうしたインタビューはとても速いスピードで広がります。いわゆるソーシャルネットワークやプラットフォームのおかげです。

写真提供：イグナシオ・ラモネ

イグナシオ・ラモネ：大統領、インタビューは例年通り行いますが、今回は4つのパートに分けて行います。重要な問題が多い国内政策と、基本的な問題である経済について、テクノロジーと社会についてです。この点は、まさに今お話があったソーシャルネットワークについてお話しします。そして最後に国際政治についてお話しします。

ニコラス・マドゥーロ：結構です。

国内政策について

イグナシオ・ラモネ：では、次の質問から始めたいと思います。ベネズエラにおける民主主義の問題は、どういうことと関連しますか。

ベネズエラでは、今年、24年は非常に選挙が多い年でした。7月28日には大統領選挙があり、グアヤナ・エセキバに関する国民投票があり、8月25日には参加型予算に関する国民投票があり、平和裁判官の選挙があり、さらに今年は地方選挙や地域選挙があり、議会選挙を含む一連の選挙があります。つまり、25年前にポリーバル革命が始まって以来、ベネズエラは選挙が非常に多いという特徴があります。しかし、あなたは、最近、ベネズエラにもっと民主主義を注入するために、最終的には憲法改正を考えているとおっしゃっています。そこで、私はすでに十分な民主主義があると思いますが、あなたはベネズエラの民主主義に何を加える必要があると思いますか？

ニコラス・マドゥーロ：そうですね、まず、昨年12月15日に憲法が25周年を迎えた今、その成果は非常に前向きであり、非常に肯定的です。なぜなら、数々の陰謀、クーデター未遂、2002年4月に阻止することができたクーデター、さまざまな段階にわたる経済戦争、心理的・認知戦争、国内外の政治戦争にもかかわらず、1999年の制憲議会の主要な提案である参加型で、国民が主役の民主主義の構築が再び息を吹き返しているのを目の当たりにしています。1990年代末、チャベス司令官は、古い疲弊した政党制民主主義、つまり代議制民主主義を克服するという考えを掲げ始めました。それは一見民主主義のように見えても、実際には主権と権力の本当の所有者である主権者、つまり国民にとって大きな制約であるというものです。そして、私たちは25年前の理念や提案が広範かつ十分に実現されたと言うことができます。

私たちは、これまでに31回の憲法に基づく選挙を実施してきました。31回の選挙、定期的かつ継続的に、完璧なタイミングで行われた選挙です。大統領選挙は、どのような戦争や封鎖があっても、決して延期を言い訳にすることなく実施してきました。また、県知事や県議会選挙、市長や市議会選挙も行われています。さらに、7回の国民投票も実施してきました。その中には、エセキボ地域に関する国民投票のように、重要かつ根本的な問題

を解決するためのものも含まれています。特に重要だったのは、2007年に実施された憲法改正のための国民投票です。この時はわずか2万票差で敗北しましたが、私たちは、即座に結果を受け入れました。また、2009年2月の国民投票も思い出されます。この時は憲法を修正するためのものでした。ベネズエラでは、憲法のコンマ一つ、ピリオド一つ、単語一つを変更するにも国民投票が必要です。それは制憲議会の命令であり、国民の憲法上の権利なのです。

さらに、チャベス司令官は2006年から2007年にかけて、直接的な人民民主主義の構築を開始しました。最初の地域評議会を設立し、その後、地域評議会を集約した形である「コムーナ（コミューン）」という概念を発展させました。そして、住民たちに自治の権限を委ねる取り組みを進めました。

私たちは、直接民主主義、地域住民共同体による民主主義という考えを非常に力強く再び取り上げています。この場合、私たちの国民が語る「新しいコミューン国家」や「新しい現代的な国家」の構築を目指しています。それは、21世紀のポリーバル主義的社会主義の現代性という理念の中であり、西洋世界の失敗した現代性や、現代性への批判であるポストモダニズムの考え方ではありません。この場合、1999年の憲法を基盤として、新しい概念を構築しようとしています。そして、その成果は非常に素晴らしいものとなっています。2024年、私たちはコミュニティに対して3回の直接的な住民投票を実施しました。そのうち2回は、プロジェクトや予算の配分に関するものでした。コミュニティ・プロジェクトのための投票です。これらは、住民が決定し、直接、非公開、広範な住民投票により行われ、多数決で承認したものです。これにより、数千もの地域プロジェクトが承認され、多くの場合、旧来の官僚的な国家が対応できず、解決できなかった差し迫った問題が解決されました。私自身、ミランダ県のグアティレやアライラという地域で、あるプロジェクトの目撃者となりました。それは、生産地域への主要なアクセス道路の擁壁を建設するというものでした。この地域では、「マンダリーナ・ルート」と呼ばれるエリアへのアクセス道路が崩壊寸前で、長年にわたり地元の市長に擁壁建設を要望していましたが、何の回答も得られませんでした。そこで、私たちと地域住民は最初の住民投票でこのプロジェクトを承認し、約1万ドル相当の資金を直接提供しました。地域住民は4か月で見事に、安全で完全な擁壁を建設し、さらに予算が余ったため、診療所と学校を修復することができました。このことは、直接民主主義や地域住民による民主主義が、国民の参加と監視のもとで、旧来の疲弊した官僚的国家よりもはるかに効率的で優れていることを示しています。私たちは、まだ、地方レベルで問題を解決できない旧来の国家と、基盤から生まれつつある新しい国家のエネルギーが奇妙に共存している状況にありますが、そこから新たな未来が生まれています。

さらに、今年の締めくくりとして、12月15日に非常に素晴らしい実験を行いました。というのは、国民議会が「コムーナ平和裁判の基本法」を承認し、ベネズエラ全土で

15,000 人の平和裁判官（正裁判官 15,000 人、補欠裁判官 15,000 人）が直接投票によって選出されました。これについては世界ではほとんど語られていません。というのは、世界が関心を持つのは、「ベネズエラは独裁国家であり、民主主義が存在しない」ということを繰り返し主張することだけです。彼らが認める唯一の民主主義は、北や西洋、そして腐敗し、崩壊しつつある集团的帝国の民主主義だけです。しかしここ南半球、グローバル・サウス、南米では、人民民主主義、直接民主主義、地域住民による民主主義という新しい美しい実験が生まれつつあります。この現実を語ることはほとんどなく、むしろ無視されていますが、それこそが私たちの誇りであり、未来の希望となるものです。

こうして、私たちは、この素晴らしい時期を通じて、新しい形の政治を構築することが可能であり、それが人類にとって可能であるだけでなく、必要であり、緊急の課題であることを確認することができました。そして、この議論を基に非常に力強い提案が生まれました。それは、2025 年 1 月から、国家全体と社会全体を民主化し、新しい形の政治、新しい民主主義を強化するための憲法改正に向けて進むというものです。この提案は、ベネズエラ社会全体から非常に好意的に受け入れられています。この取り組みは、対話的で包摂的な方法論を用いて進められ、新しい政治の形を模索し、実現することを目指しています。

私たちは現在、特別なチームを編成しています。いわば専門家、アドバイザー、そして助言者たちのチームです。私は、私たちが常に実施している人民権力への諮問の方法に特に注目しています。また、支援を申し出てくれた国際的なアドバイザーや助言者のグループもいます。そして、近いうちに、おそらく今後数週間以内に...



写真提供：イグナシオ・ラモネ

イグナシオ・ラモネ：これを何らかの方法で、法律にしますか？

ニコラス・マドゥーロ：はい、憲法改正は、施行されるためには、まずプロジェクトにしなければならないからです。改革は、国民議会、ベネズエラの立法権、ベネズエラに存在する唯一の議会、2020年に国民によって選出された議会に持ち込まれなければなりません。議会がプロジェクトを承認したら、そのプロジェクトは街頭、国民、討論、国民投票に持ち込まれなければなりません。ベネズエラで改革を承認する、憲法を改正する最終の言葉は、主権を持つ、直接民主主義の国民です。

イグナシオ・ラモネ：大統領、全世界は現在、数日後に行われる2つの就任式を待っています。ひとつは1月20日にワシントンで行われるドナルド・トランプ次期アメリカ大統領の就任式、そしてもうひとつは数日後の1月10日に行われるあなたの就任式です。お聞きしたいのは、多くの世界の観察者にとって、世界をリードする大国の大統領就任式と、ベネズエラの指導者交代（今回はあなたが再選されたため行われませんが）が同じ関心事であることをどう説明するのか、ということです。ベネズエラが世界の注目の的になるほどの特別な理由は何でしょうか？

ニコラス・マドゥーロ：なぜなら、ベネズエラの支配権をめぐる争いがあるからです。ベネズエラは、ちょうど200年前、反植民地主義、独立闘争の中心地でした。1821年6月24日、解放者シモン・ボリーバルがスペイン帝国軍を現在のベネズエラの地から追い出す戦いに勝利したカラボボの解放の剣、サーベルが、ここに 있습니다。リマの人々、リマの貧しい人々、先住民、職人たちが、ボリーバルを解放者、救世主と宣言するために彼に贈った剣がここに 있습니다。この2本の剣は、私たちの歴史において象徴的に重要であり、大きな意味を持っています。そしてここには、200年前にアヤクーチョで勝利を収めたアヤクーチョ大元帥が持っていた短剣もあります。アヤクーチョの戦いで、ヨーロッパ、スペインの帝国軍は、最終的に南米から追い出されました。これらのシンボル、解放者アントニオ・ホセ・デ・スクレのピストルは、私たちが今日進めている戦いを力強く示しています。

イグナシオ・ラモネ：大統領、私たちは、大統領府にいると説明しなければなりません。

ニコラス・マドゥーロ：そうです。ここはミラフローレス宮殿の第一執務室です。そして、まさにこれらのシンボルは、私たちに毎日、恒常的に寄り添っています。私たちがどこから来たのか、私たちのプロジェクトはどのようなものなのか、21世紀のための私たちの力とエネルギーはどこから来ているのかを、ラモネさん、常に思い出させてくれるのです。

ですから、いいですか、2024年、帝国はベネズエラに決定的な打撃を与えられると信じて、二重の戦略を展開しました。一方では、私が「欺瞞の外交」と呼ぶものを使いました。これは、帝国、特にアメリカ帝国が世界中で頻繁に行う手法で、さまざまな形態がありま

す。「欺瞞の外交」は、偽りの魅力や虚偽の提案を用いて行われ、相手の信頼を得た後に背後から刺すような策略です。また、別の場面では、脅迫や侵略の威嚇、経済戦争の脅しを基盤とした「欺瞞の外交」を実行することもあります。

私たちは、アメリカ帝国とその同盟国のすべての行動様式を知っています。彼らは 2024 年が決定的な年だと考え、ジョー・バイデン政権との交渉を通じて行われた欺瞞の外交を実行しましたが、彼らはそれを完全には達成できませんでした。

イグナシオ・ラモネ：バルバドス会談と呼ばれるものですね。

ニコラス・マドゥーロ：そしてカタールの会談です。

イグナシオ・ラモネ：カタールの会談ですね。

ニコラス・マドゥーロ：そうです。そして文書の署名です。そこには、彼らが露骨かつ凶々しく違反した文書があります。そしてその裏で、彼らは極右のファシストの再興を支援し、資金提供し、支持し、促進しました。それはベネズエラの反対派の大部分を支配し、再び大規模な陰謀へと導き、国々を破壊するために必要なトロイの木馬となることを目指していました。そして彼らは再び、2002 年のクーデター時と同じように、私たちを過小評価し、ベネズエラ国民を過小評価し、完璧な計画を持っていると信じていました。しかし、小さな事実が一つあります。彼らはボリーバル革命の歴史的ブロックが持つ巨大な力を考慮していませんでした。彼らはベネズエラに強力な歴史的ブロックが存在し、人民の力、軍の力、警察の力が完璧に融合していることを考慮していませんでした。それが、私たちが呼ぶ「市民－軍－警察の結束と融合」であり、私はこれを「ボリーバル革命の大歴史的ブロックの人民－軍－警察の融合」と呼んできました。これはグラムシの概念を取り入れ、チャベスによって、ボリーバル革命が発展されたものです。

こうして、今年、私たちは、ボリーバル革命を破壊しようとする帝国主義の計画を阻止しました。しかし、彼らは、ベネズエラを不安定化させるという決意を頑固で執拗に維持しています。そして、7 月 28 日の大統領選挙を世界的な選挙に変えたように、今度はソーシャルネットワークを操作して、さらに世界的な選挙に変えようとしているのです。2024 年、世界ではいくつの選挙がありましたか？何百もの選挙がありました。

イグナシオ・ラモネ：少なくとも数十回はありました。歴史上最も多く選挙があった年です。

ニコラス・マドゥーロ：しかし、選挙は 2 回しかありませんでした。ベネズエラの 7 月 28 日の選挙と・・・

イグナシオ・ラモネ：そして米国の選挙です。

ニコラス・マドゥーロ：そして 11 月のアメリカ。彼らは、それを世界選挙に変えたのです。今、彼らは 1 月 10 日の就任式を世界的なものにしようとしています。彼らが達成できなかったこと、そして達成することはないこと、それは、私たちの祖国を不安定化させ、私たちの民主主義を不安定化させ、ベネズエラを脱線させ、混乱と分裂の道を歩ませ、対立と混乱、分裂、暴力を通じて外国の軍事介入を呼びかけることです。これは、ベネズエラのファシズム、極右の狂った考えの最終的な夢であり、最大限の圧力、暴力、そしてチャベス主義革命勢力の破壊を行う方法を適用しようとするものです。

ベネズエラは、単に、平和で、穏やかで、平穏で、運命を確信し、進むべき道を確認しているだけです。そして、この 25 年間、内部の陰謀、内部のファシストのトロイの木馬、外部からの圧力、陰謀、傭兵、テロリストを解体し、解散し、駆逐することができたように、私たちは、ベネズエラ国民、そして、私たちを支持し、私たちを愛し、ベネズエラの人々を愛する世界中の人々に、ベネズエラが独立、平和、革命の道を歩み続けることを保障します。その点は、ご安心ください。

イグナシオ・ラモネ：大統領、あなたがおっしゃっているように、反ベネズエラ・メディアキャンペーンは 25 年間続いており、7 月 28 日の選挙での勝利以来、このキャンペーンがどのように激化しているかを私たちは目の当たりにしてきました。特に、国際的な保守メディアは、選挙の翌日、つまり 7 月 29 日に起きたことを恥ずかしげもなく書き換えています。組織的武装集団が一連の公的機関を攻撃し、約 30 人の死者を出した事件です。国際的なメディアで語られ、ソーシャルネットワークで拡散したのは、これらの犠牲者はベネズエラ当局が引き起こしたというものです。ですから、エドゥアルド・ガレアーノがよく言っていたように、ちょっとした逆さまの世界なのです。あなたは、こうした嘘に反発して、革命運動、特に歴史ブロックの再始動だけでなく、反ファシストの大攻勢を開始しました。あなたは、カラカスで一連の反ファシズム大会、反ファシズム運動を組織しました。国際的な反ファシズムが ボリーバル革命を支持しカラカスに集まりました

この新しい国際的なキャンペーンについて、あなたはどのように考えているのか、また、ここ数カ月カラカスで開催されている反ファシズム会議について、あなたはどのように評価しているのか、お聞きしたいと思います。

ニコラス・マドゥーロ：ベネズエラの反ファシストの諸会議は、反植民地主義、反ファシスト、進歩的、左翼的、革命的、あらゆるヒューマニズム運動において、私たちが世界のあらゆる運動から絶大な支持を得ていることを示しています。ここベネズエラには、広範な文明の多様性、あらゆる大陸、あらゆる国から人々が集まり、何を求めているのでしょうか？別な選択肢がること、一極集中の世界が戻ってこず、覇権主義が終わり、そしてまた、世界の所有者、民間企業、ソーシャルネットワークの所有者、ポータルサイトの所有者、世界の大メディアに、別の世界が可能であることを伝えるために集まるのです。そして私たちは、まず、第一に、ベネズエラの現実の世界を支持します。第二に、ベネズエ

ラの人々が反ファシスト会議に対して示した膨大な支持です。私は、アジア、アフリカ、ヨーロッパ、アメリカ合衆国、ラテンアメリカ、カリブ海の政治家や知識人、社会運動の代表者たちが、国内のさまざまな県のコミュニティを訪れ、都市や町の通りを歩き、ベネズエラの人々が望む平穏、安定、平和が尊重されていること、そして誰もベネズエラの内政に干渉しないこと、帝国がベネズエラを静かにしておくこと、この地がボリーバルの故郷であることを街頭で実感した経験をいくつか目撃しました。



写真提供：イグナシオ・ラモネ

こうして、第二に、反ファシスト会議に対するベネズエラ国民の絶大な支持と賞賛を見ることができました。

第三に、私は、あなたに次のように言えます、ベネズエラでは世界の進歩的な運動、革命的な運動の未来が決まっているということ。そして、私はそのメッセージ、その意識、その警戒心が、すべての大陸、すべての国々、すべての宗教、すべての文化の何百万もの男女の心に刻まれていると確信しています。なぜなら、ベネズエラには世界の犯罪を告発する非常に強力な声があり、西洋の墮落を告発する非常に強力な声があり、民族や文明を新しい平等な発展モデルに基づいて近づける提案を行う非常に強力な声があるからです。それは、解放者シモン・ボリーバルの提案のように、社会的な最大の幸福を追求するものです。だからこそ、人々は注視していました。ソーシャルメディアの操作や、いろいろな所で記事を書いている傭兵のような暗殺者たちによる操作があります。安心してください。私はそれを見ており、私たちはそれを確認しています。大規模な操作がある一方で、私たちの国の真実を守るための大規模な運動もあることを。人々は、7月28日の選挙を利用した陰謀が何を意味していたのか、国を暴力で満たし、外国の介入によるクーデターを引き起こそうとしたことを知っています。人々は、ベネズエラの人々が48時間で平穏と平和を取り戻し、正義を行うために尽力したその巨大な価値を認識しています。

ベネズエラの司法機関、公共省、司法制度は、暴力行為やヘイトクライムの実行犯を特定するために、国際基準を含む国内法に従い、徹底的かつ専門的な捜査を行ったことはご存知の通りです。7月29日と30日に発生したファシストによる暴力行為で殺害されたすべての人々は、コマンディートスと呼ばれる集団の犠牲者であり、金で雇われた犯罪者集団の犠牲者であり、通りに出て焼き討ちや破壊を行った集団の犠牲者です。というのは、今回が初めてではありません。彼らは、この2024年版のグアリンバ（破壊集団）で、米国やその同盟国に、ベネズエラに軍事力を持ち込み、ベネズエラを戦闘地域、紛争地域にしようとする正当な理由を与えるような、大規模な騒ぎを引き起こすつもりでした。しかし、私たちには、力強さがあり、自覚があり、能力があり、48時間で平和は憲法上回復し、正義が実行され、正義はこれからも実行されるでしょう。あなたに絶対的な確信をもっていえることは、あなたがわが国のどのような街でも街頭にでるなら、ベネズエラ人に聞いてみてください。あなた方は、グアリンバが戻ることを希望しますかと。あなた方は、暴力が戻ることを希望しますかと。あなた方は、憎しみの犯罪が、攻撃、不寛容が戻ることを希望しますかと。わが国の90%以上の国民は、異口同音に、不寛容は望まないし、憎しみは望まないし、分裂は望まないし、暴力は望まないし、あなた方に答えるでしょう。私たちは、平和の道を歩んでおり、ここにいる、皆さんもよくご存じのニコラス・マドゥーロ・モロス、再選された大統領は、私たち国民とともに、ベネズエラの平和、安定、独立を保障する最大の存在であると断言できます。

そして、反ファシスト会議が数日後に続き、1月7日から12日まで、大規模な反ファシスト世界青年会議が開催されます。そして、社会的・政治的運動の反ファシスト会議の第2幕が開催されます。私たちは、7月7日から12日の間に、反ファシズムの勝利を祝うためにベネズエラにやってくる、すべての大陸からの2,000人以上の社会的・政治的運動の指導者たちの到着を期待しています。なぜなら、ベネズエラでは、再浮上しようとしているファシズムの不気味なモデルに対する戦いの未来が決定されようとしているからです。

経済問題について

イグナシオ・ラモネ：大統領、これから経済についてお話しますが、これは非常に重要な問題です。数日前、デルシー・ロドリゲス副大統領は、あなたが石油人民権力省の名称を変更することを決定したと発表しました。今後は、炭化水素人民権力省と呼ばれることとなります。デルシー・ロドリゲス氏は、この変更はエネルギー問題への対処方法の戦略的転換を意味すると述べました。この戦略的転換の内容を説明してください。

ニコラス・マドゥーロ：私たちは2016年に18のエンジンを定義しました。その後、ベネズエラに対するすべての犯罪的制裁、すべての経済的、通商的、金融的迫害が始まりました。そして、私たちは18のエンジンの開発を辛抱強く続けていたのです。その一つが炭化水素エンジンです。総合的に見て、ベネズエラは、エネルギー大国です。地球上で最

大の石油埋蔵量があります。第4位のガス埋蔵量。強力な石油化学産業があります。ですから、炭化水素エンジンはベネズエラの発展にとって非常に重要なエンジンです。しかし、もはや炭化水素エンジンに依存しない、あるいは依存を断ち切るというビジョンを持っています。私たちは、炭化水素エンジンを国の経済発展を支える強力なエンジンにしたいと考えています。強力なテコとして、しかし再び依存することなく、石油以上のものを基盤とする生産的な経済を構築する決断をすでに下しています。そして、私たちは良い前進を遂げたと思います。

イグナシオ・ラモネ：より多角的な経済ですね。

ニコラス・マドゥーロ：そうです。国内のニーズを満たし、輸出を發展させ、国が必要とする輸入の代替を發展させるために、多様な特性、言ってみれば多様な潜在的開発能力を備えています。

イグナシオ・ラモネ：大統領、ここ数年ベネズエラは、アナリストが経済的奇跡と呼ぶものを経験しています。独立した信頼できる国際機関の数字によると、ベネズエラは2022年に12%の成長を遂げました。昨年、23年の成長率は5%でした。そして、おそらく数字が公表されるときには、ちょうど終わったばかりの24年の成長率は6%になるでしょう。そして、封鎖された国、何十もの犯罪的な一方的強制措置にさらされている国で、このようなことが起こっているのです。アナリストは、あなた方はどのように経済を運営しているのか、聞いています。あなたのレシピは何ですか？

ニコラス・マドゥーロ：まず、第一に、計画を立てることです。ここに概要があります。これは私の作業文書です。これは、私の文書です。あなたには、お見せしません。私たちは恒常的に経済戦略に従っています。まず、第一に、2016年に国家發展の真の原動力をはっきりと確立しました。2つ目は、生産的な努力に沿ってマクロ経済の均衡を構築する必要性を確立することでした。そして第3に、自立的かつ持続可能な形で、自らの努力によって發展戦略を構築することでした。私はいつも、ウルグアイのバンダ・オリエンタルの偉大な解放者ホセ・アルティガスを引用します。彼が「私たち自身以外、何も期待してはならない」と言ったことを。これを私は心に刻み、慎重に全国経済の各セクターの發展戦略に取り入れています。私たちは大きな目標を掲げました。そしてここでその目標を再確認しています。基本的な目標の一つは、食料を生産することでした。私は、かつてチャベス司令官が創設した「ベネズエラ農業大計画」の再構築を行い、全国農民運動との議論を通じて改革を進め、農村の生産力を解放するための実践的な行動を取りました。その結果、ベネズエラは食料品の80%を海外に依存していた状況から脱却しました。私たちは120年間、すべての食料を海外から購入していました。なぜなら、石油収入に頼っていたからです。そこから、80%の依存状態、さらには街での80%の品不足の状況を克服し、農業生態学的な製品、有機製品の100%の供給を達成しました。農村の生産運動、農民運動、そして農村の企業家たちとともに解決策を模索しながら進めてきたのです。

農村、土地、食料の発展は極めて重要です。そして、ベネズエラの産業能力を徐々に回復させてきました。一時はわずか 8%にまで低下していましたが、ベネズエラにはあらゆるセクターで重要な産業があり、良好な水準を持っています。チャベス司令官は、信用制度などを通じて国内での産業投資をしっかりと行いました。しかし、ベネズエラの産業システムは 8%にまで落ち込みました。今年は、全体的に見て 45%で締めくくる予定です。そして、来年、私は経済担当副大統領であるデルシー・ロドリゲスに、輸入代替のサイクルを完了するために 70%に達する必要があると提案しました。これは、国内で生産可能なものを輸入するという悪循環を断ち切るために必要なサイクルです。国内で全てを生産し、新しい輸出志向のサイクルを強化することで、見てください、資金や外貨を獲得し、ベネズエラの為替制度を強化し、その他多くのことに資金を充てるのが可能になります。

ここに計画があります。これをすべて進めていきます。私はすでに「7 つの変革」を提案しました。その最初が、ベネズエラの大きな経済変革です。強力な経済の発展をさらに進めることです。注目してほしいのは、私たちが強力な国内市場を発展させてきたということです。直近の四半期では、国内商業が 81%成長しました。これは、私が「国内消費の過熱」と表現した現象で、国民の購買力と消費能力が非常に高いことを示しています。そして、それは国内生産による高い供給レベルだけでなく、輸入によるものでもあります。そのため、輸入を減らし、国内で全てを生産するというバランスを追求する必要があります。これが重要な要素です。

ここに、2022 年については、経済的な数字も出ていますね。

イグナシオ・ラモネ：12%の成長です。

ニコラス・マドゥーロ：もしよろしければ、訂正します。

イグナシオ・ラモネ：はい、お願いします。

ニコラス・マドゥーロ：2022 年の成長率は 15%でした。ミサイルの後、犯罪的な経済制裁の後、ミサイルが落ちた後、私たちは耐え、抵抗し、実体経済が成長した最初の年は 2022 年で、15%でした。

2 年目は 2023 年で、2023 年は 5.5%、2024 年には、すべての科学的、統計的、技術的データによると、国内総生産の成長率は 9%を超え、実体経済も炭化水素経済も非常に高い水準で成長しました。ラモネさん、私たちは自らの投資、自らの技術、ベネズエラの炭化水素労働者階級の膨大な努力、知恵、準備、訓練、彼らの知識によって回復しつつあります。というのは、私たちは、引き続き我が国の石油産業、ガス産業に対する経済的迫害に苦しんでいるからです。

いい要素もあります。2024 年には、過去 20 年間で最も低いインフレ率になり、42 カ月プラス成長を達成します。ですから、これから 6 年間かけて、自給自足の生産的な経済モ

デルを構築し、輸出を発展させ、労働者階級と国民のすべての社会的・労働的権利を回復することを目指しています。

イグナシオ・ラモネ：大統領、先ほどのお話の続きですが、経済状況がかなり改善されつつある今、2025年のベネズエラ国民の日常生活を改善するために、この祝祭日にどのような良い施策を発表できますか？

ニコラス・マドゥーロ：そうですね。ここにその計画があります。まず、第一に、国の食料の総合的な自給自足を確立することが重要であり、また輸出志向を強化することです。この目標を達成するために、ベネズエラの農業分野に大規模な投資を行っています。第二に、ベネズエラの為替システムの安定化とインフレとの戦いを強化することです。これは、国の経済社会的発展に最適な条件を整えるために重要です。この計画には、よく連携され、しっかりと機能している要素が含まれています。また、世界中の同盟国との協力を通じて、投資と独自の技術を確認し、電力サービスの安定化を進め、国内消費用の燃料の安定供給を続け、ベネズエラの石油精製システム全体の回復を進めることも、この計画の基本要素です。社会的な面では、2023年に私は労働者の総合所得をインデックス化（物価に連動）する仕組みを導入しました。そして2024年にはそれをさらに深化させ、可能な限り進めました。ただし、収入が国の収入全体に依存しているため、現時点で私たちはかつて国が得ていた収入の10%しか回復していません。その限られた資金で投資し、すべてを回復しなければなりません。しかし、2025年には、インデックス化の概念と実質所得の回復を強化し、国の富の創出が進むにつれて、それに応じて成長を遂げていく計画です。さらに、この2025年の目標には、国の医療施設を100%回復し、完全な機能を保障することが含まれています。技術面でも、奇跡的な成果を上げた軍民共同の地域部隊とともに進展を遂げています。また、この2025年には、同じく軍民共同の地域部隊という素晴らしい仕組みを活用して、全国の学校と高校を100%回復させます。

すべての方向で取り組むこと、これは私にとって非常に重要であり、優先事項として位置づけています。今年、地域社会に直接資源を提供するために6回の協議を行います。そのうち4回は一般的な地域プロジェクトのための協議、5回目は特に若者のためのプロジェクトに焦点を当てた協議、そしてもう1回は文化活動家や芸術家、そして「偉大な文化ミッション」および「偉大なる私の愛する祖国ベネズエラ万歳計画」に関連するすべてのプロジェクトのための協議です。

そして、新しいコミュニティ予算の適用についてですが、これには人々がこれから知ることになる仕組みがあります。私は「地域プロジェクト予算基金」を設立しました。この基金には、私たちの推定では6億ドル相当の追加資金が投入される予定です。これは、国家予算を直接コミュニティに割り当て、彼ら自身が優先事項を決定するというものです。これにより、地域やコミュニティの生活の質に大きな影響を与えることになるでしょう。

そして、2024年に開始したように、新世代の「偉大な計画」の発展をさらに進めていきます。新世代の「偉大な計画」は、指導者チャベスが提唱した元来の計画、偉大な計画の概念を基盤としつつ、経済戦争やアメリカの犯罪的な制裁で最も被害を受けたセクターに構造的かつ戦略的な観点から焦点を当てています。「偉大なベネズエラ女性計画」では、女性に対する包括的な支援を特定のニーズに応じて進め、国内の女性たちによる大規模な運動を構築していきます。「偉大なベネズエラ若者計画」では、若者が学び、働き、文化や教育を享受する権利をさらに強化します。「偉大な祖国の祖父母計画」は、私自身も祖父であることから、特に重要な計画です。

イグナシオ・ラモネ：私も、です（笑）。

ニコラス・マドゥーロ：私たちは祖国の祖父母であり、人間の祖国の祖父母なのです。「偉大なる私の愛する祖国ベネズエラ万歳計画」は、アイデンティティ、文化、精神、魂、そして心の独立を象徴しています。「偉大な平等の計画」も含まれます。そしてこれに加えて、住宅と居住環境に関する取り組みがあります。「偉大なベネズエラ住宅計画」と「偉大新たな三色居住区計画」を一つの努力として再強化し、統合することを目指しています。

イグナシオ・ラモネ：大変綺麗ですね、「三色居住区計画」。

ニコラス・マドゥーロ：すでに美しく、準備も整っています。私たちは、国民が望む新しい方法、住宅を建設する新しい方法、住宅を修理する新しい方法で前進するつもりです。

私たちには明確な優先順位があり、計画があり、意志があり、人々の支持があります。2025年は、ここ数年は、実際、例外的な素晴らしい年となることと思います。

テクノロジーと社会の問題

イグナシオ・ラモネ：大統領、テクノロジーと社会の問題に移りましょう。

ニコラス・マドゥーロ：結構です。

イグナシオ・ラモネ：私は、あなたが、この問題に非常に興味を持っていることを知っています...

ニコラス・マドゥーロ：お茶でもいかがですか？レモンと生姜入りのマロヒージョを。

イグナシオ・ラモネ：はい、喜んで。

ニコラス・マドゥーロ：健康にとってもいいですよ。

イグナシオ・ラモネ：いいですね。もちろんです。

私は、あなたが非常に興味を持っていると知っているテーマ、つまりソーシャルメディアとそれが私たちの社会に与える影響について話したいと思います。最近、いくつかの政府がソーシャルメディアへのアクセスを制限する措置を講じています。たとえば、アルバニアは、TikTok を 1 年間禁止することを決定しました。また、ブラジルは、学校施設内で電子機器やスマートフォンの使用を禁止することを決定しました。さらに、オーストラリアは、16 歳未満のすべての未成年者にソーシャルメディアの利用を禁止することを決定しました。それで、私は、お聞きしたいのですが、ここベネズエラでは、あなたの政府がこれらのような予防措置を採用することを検討しているのでしょうか？

ニコラス・マドゥーロ：まず、第一に、ソーシャルメディアという世界的な現象と、いくつかの民間企業が人類史上かつてないほどの巨大なコミュニケーションの力を持っていることを理解する必要があります。これらの企業は、電話を通じて地球上の何百万、何十億もの人々に直接アクセスできる能力を持っています。そして、当初は商業的・経済的な理由から、人々の心に影響を与える能力を作り上げました。この能力は、私たちがマーケティングを通じて知っているように、すでに発展しています。あなたがこの本で非常によく研究したように、2007 年に書かれたあなたの本ですね、その当時のラジオ、新聞、テレビにおける操作や影響力の能力について研究しています。

イグナシオ・ラモネ：映画も。

ニコラス・マドゥーロ：そうです。映画もそうですね。そして今、これらはかつて考えられなかったレベルにまで達しています。ラモネさん、彼らは、あなた、そして私、さらにはあなた自身の好みまで知っています。たとえば、あなたが猫や犬が好きか、特定の飲み物や食べ物が好きかといった、個人的な嗜好をすべて把握しています。しかし、それだけでは終わりません。これらは、すでに政治的な力の領域にまで持ち込まれています。選挙プロセスの操作、政治的プロセスの操作、そして国々の不安定化のために利用されています。実際、世界の主要な大国は、自国のソーシャルメディアを管理しています。中華人民共和国、インド、ロシア、そしてアメリカ合衆国もそうです。アメリカは、Facebook や WhatsApp といった億万長者が所有する大手民間企業をコントロールしています。

イグナシオ・ラモネ：Instagram も。

ニコラス・マドゥーロ：Instagram、YouTube、そして今は TikTok。でも結局、TikTok は、アメリカの強力な者たちの脅迫と支配に屈してしまいました。まず理解しなければならないのは、私はこのテーマについてたくさん勉強し始めたということです。簡単ではないからです。実際、理論的には理解している人もいますが、ソーシャルメディアの影響を受けている被害者でもあります。ソーシャルメディアについてかなり詳しい人もいますが、それでもまた一人の被害者に過ぎません。

私は、この本を読み始めました。この本は、ファシズムの発生時にカラカスでフアン・カルロス・モネデーロが持ってきてくれたものです。私は、これらの本をみなさんに勧めます。今年、私は、これらの本を読み、復習しています。『ファシズム・メインストリーム』、カールス・センソ著。『ジャーナリズム、陰謀、アルゴリズム、そして極右のためのボット』。この本を読んだら、2017年の7月27日、28日、29日、30日にベネズエラで起きた出来事を解釈するために書かれたかのように感じるでしょう。本書に書かれていることは、ベネズエラでのファシストクーデターに適用されました。私たちはこの本を実践で覚えているのです。この本は、非常に貴重です。

そして、私に贈っていただいたもう一冊の本があります。これは、アメリカ人のジョナサン・ハイトが書いたもので、私は彼を知りませんが、とても良い本です。ニューヨーク・タイムズのベストセラー『不安な世代』。なぜソーシャルメディアが若者の間で精神的な病気の流行を引き起こしているのか。アメリカの知識人によって書かれたものです。私は、これをお勧めします。

イグナシオ・ラモネ：今年の流行語大賞は「脳の腐敗」でしたね。

ニコラス・マドゥーロ：脳の腐敗。これが、ソーシャルメディアが作り出すものです。感情、脳、反応能力を腐らせます。ここにマルタ・ペイラーノというスペイン人の別の本があります。「敵はシステムを知っている。注意経済後のアイデア、人物、影響の操作」。これは、ベネズエラ人のグループ、2人の将校、フランシスコ・フェリペ・ロペス・クレスポ海軍大尉とホセ・グレゴリオ・シルバ・フェルナンデス大佐の本です。「21世紀の情報戦争」、素晴らしい本で、このベネズエラ軍人たちの現象について非常に優れています。

早く手に入った本があります、ミシェル・デスマユルジェの本。「もっと本を、もっと少なくスクリーンを：デジタル馬鹿を終わらせる方法」です。

イグナシオ・ラモネ：素晴らしい（笑）。

ニコラス・マドゥーロ：本当に、研究資料はかなりあり、私たちはそれを理解する義務があります。

イグナシオ・ラモネ：まったく、その通りです。

ニコラス・マドゥーロ：私たちは、国の精神的健康を守る義務があります。しかし特に、成長中の子どもたち、少年少女、若者の精神的健康を守ることに非常に大きな責任を負っています。「脳の腐敗」と呼ばれるこの概念はすでに研究されており、子どもたちが画面に没頭することで、脳の認知機能の発達に深刻な影響を及ぼしていることが確認されています。ここベネズエラでは、最近、最高裁判所の憲法法廷がこの問題を扱いました。学校や高校の保護者グループが、TikTokのバイラルチャレンジが原因で、2人の子ども（女

の子と男の子) が亡くなったことを受けて、保護命令を提出しました。そのうちの1つのバイラルチャレンジが原因です。最近では、別の人物が、ライブ配信中に TikTok のバイラルチャレンジを実行し、体の 70%が焼ける事故が発生しました。ベネズエラ政府は、通信国家評議会 (Conatel) という権限のある機関を通じて行動しました。また、保護者グループは、憲法法廷に訴え出ました。憲法法廷は、一連の公聴会や司法的なイベントを開催し、初の判決を明確かつ厳格に下しました。それは、TikTok に対し、ベネズエラ国内にオフィスを設置し、ベネズエラの法律に従うよう義務付けるものです。

さらに、TikTok には 1,000 万ドル相当の罰金が科されました。そして、これが遵守されない場合、ベネズエラ領域内でさらに厳しい保護措置を取るとしています。私は、ただ、人類の中で精神的健康の権利を守りたいと願う人々、そしてベネズエラの憲法法廷に協力し、私たちの子どもたち、若者、そして社会全体を守るために必要なことをする準備があるとだけ言いたいです。私たちは、すでにファシズムの勃発を目撃しましたが、TikTok は 2023 年 7 月 27 日から 30 日にかけてのベネズエラでのファシズム勃発の主要なキャンペーンツールでした。そのとき私は、ここ、この執務室に座っていました。7 月 29 日と 30 日には、自分の TikTok アカウントにアクセスしました。私には TikTok アカウントがあり、あなたも見たことがありますよね？

イグナシオ・ラモネ：ええ、もちろんです。

ニコラス・マドゥーロ：私は、そのアカウントを開きました。ほら、ここで開きます。グアルベルト・イバレートの素敵なビデオが届きましたよ。しかし、TikTok のアカウントで届く 10 本の動画のうち、8 本は街頭での暴力を促進するものでした。TikTok が知らなかったとでも言いますか？彼らは、「選択的検閲」と呼ばれるものを使用しています。彼らは好きなアカウントを検閲し、削除しますが、ベネズエラに対する暴力についてはそれを推進しました。そして今、これらのバイラルチャレンジを推進しています。これにより、アルバニアでは 1 年間の停止措置が取られ、オーストラリアでも抜本的な対策が講じられました。私は、2025 年には、TikTok だけでなく多くのソーシャルメディアが推進する反道徳的価値観や精神的不健康に対抗するための法律や決定が世界中で増えると確信しています。

イグナシオ・ラモネ：大統領、同じ視点に立つと、正確にはこのテーマではありませんが、関連しています…

ニコラス・マドゥーロ：お茶をどうぞ、召し上がってください！

イグナシオ・ラモネ：ありがとうございます。私は、人工知能 (AI) についてのご意見を伺いたいと思います。特に、先ほどのご発言の最後に触れていた国際的な枠組みについてです。一方で、AI に関する技術的・科学的な研究が進み、社会に多くの貢献をもたらす可能性を妨げないようにしつつ、他方で、AI の有害な影響や将来的に考えられる脅威

を制限するためには、どのような国際的な枠組みを定義すべきだとお考えですか。多くの科学者が、この問題について警鐘を鳴らしています。

ニコラス・マドゥーロ：人工知能（AI）は、間違いなく人類を驚かせる技術的進歩です。世界には人工知能の主要な源が 4 つあると言われています。アメリカに 2 つ、中国に 1 つ、そしてヨーロッパに 1 つあります。これが現在までに知られていることです。このテーマについて私は、かなり研究してきました。ここにもいくつかおすすめの本があります。この本はエクトル・ロドリゲスが私の誕生日、いやクリスマスに贈ってくれたものです。すでに読み始めていますが、『人工知能の時代と私たちの人間の未来』という本です。複数の著者が執筆しており、ヘンリー・キッシンジャーが亡くなる前に書いたものです。エリック・シュミットやダニエル・ハッテンロッカーも執筆に参加しています。この本を研究しており、人工知能がどのように始まったのか、最初のスーパー・コンピュータがどのように構築され、データが供給されたのかが説明されています。

また、こちらは別の本で、編集社 **Debate** から出版された『人工の新しい知性と人間の輪郭』というタイトルです。著者はマリアーノ・シグマンとサンティアゴ・ビリンキンスで、こちらも読み進めています。

イグナシオ・ラモネ：ええ、マリアーノ・シグマンはよく知っています。

ニコラス・マドゥーロ：そうですか。

イグナシオ・ラモネ：ええ、そうです、彼はアルゼンチン人で、とても優秀な科学者です。

ニコラス・マドゥーロ：そうですね。そしてここには、日本人の子孫であるミチオ・カク（ニューヨーク市立大教授）による『量子の覇権：すべてを変える技術革命』という本があります。

イグナシオ・ラモネ：確かに、量子コンピュータは、これまで何世紀もかかっていた演算を数秒で何十億回もできるようになります。

ニコラス・マドゥーロ：これが、いわゆる「スーパー人工知能」と呼ばれるものです。そして、私たちの国々はこの技術を知り、十分に理解する義務があります。現在では、ビッグデータを越えた形で人工知能が組み合わせられています。ラモネさん、私はこれについて何度も話してきましたが、あなたも知っている通り、私たちが言うことの多くは隠されてしまいます。人工知能は、ビッグデータを越えて国々を理解するために活用され、今やソーシャルメディアは人工知能によって方向づけられ、特定のセグメントに影響を与えるようになっています。

イグナシオ・ラモネ：アルゴリズムそのものがすでに人工知能です。

ニコラス・マドゥーロ：そして、ボットも。

イグナシオ・ラモネ：ボットもそうです。

ニコラス・マドゥーロ：例えば、ソーシャルメディアを通じて、あなたの全履歴や生活を完全に把握されています。そして、あなたが何かを投稿すると、それに対するコメントが届きますが、今ではそのコメントが特定の内容にカスタマイズされています。

最近、私は、ある若者、あるアーティストにこう話しました。そのアーティストは、マイアミから極右勢力による攻撃を受け始めたのです。彼は、ベネズエラについて好意的に語り、ベネズエラを訪れた有名なアーティストでした。それで彼が、「1,000 件ものメッセージが届いた」と不満を漏らしました。私は、言いました。「そのメッセージはボットによるものだよ。でも、そのボット、つまりロボットは、もうただの電話でメッセージを送る人々の倉庫ではないんだ。それは、もう省かれている。今では人工知能がソーシャルメディアに応用されているんだ」と。人工知能は、あなたの履歴を知り、どこを攻撃すればよいかを理解しています。娘を脅したり、大切な人を脅したり、あなたを傷つけるようなことを言ってきます。そして、送られてくるメッセージを読むと、それは認知戦争です。彼らが試みているのは心理的な虐殺です。私たちは、人工知能に取り組んでいます。

最近、私たちは、ウンベルト・フェルナンデス・モラン科学大学を開設しました。この大学には、人工知能、人工知能工学、人工知能技術の4年間の学位プログラムがあります。また、短期コースも提供しています。国内の人材を育成し、さらにキューバ、中国、イラン、ロシアと協力しています。私たちは、準備しなければなりません。人工知能の時代に生きているのです。そして、習近平主席が言っていること、彼の言葉を私は読んだことがあります。習近平主席のような明晰なリーダーが言うように、「それは脅威であり、確かに脅威である。しかし、注意深く対応しよう」と。

イグナシオ・ラモネ：それは、チャンスでもあります。

ニコラス・マドゥーロ：チャンスでもあります。ですから、今後数年間の大きな問題です。

国際政治について

イグナシオ・ラモネ：大統領、国際政治についてのお話の最後に移りましょう。あなたは中東をかなり旅行され、アラブ世界をよくご存じです。一方、ここベネズエラにも重要なアラブ人コミュニティがあり、特にシリア出身のコミュニティがあり、それは重要です。お聞きしたいのですが、12月8日に反乱勢力がほとんど抵抗を受けることなくダマスカスに侵入し、バアス主義国家が崩壊した出来事について、驚かれましたか？この出来事について、どのように分析されていますか？

ニコラス・マドゥーロ：ええ、まだ評価段階にあると思います。権力を掌握した人たち自身も、どうやってそこに至ったのか、なぜ至ったのかを理解していないのではないのでしょうか。声明や通常の行動を見ていると、そのように感じます。状況が落ち着き、何が起こったのか真実を知ることができるのを待ちたいと思います。非常に強力な勢力が最新の技術を駆使して行動したことはわかっています。その間、私は、ずっと私たちの大使と連絡を取っていました。

イグナシオ・ラモネ：ダマスカスの大使ですね。

ニコラス・マドゥーロ：素晴らしい大使であり、素晴らしい仲間です。彼は数日前までダマスカスにいましたが、今でも外交官に対する暗殺の脅威があるため、そこを離れました。私は、すべての出来事を把握していました。特に印象的だったのは、どのようにしてソーシャルメディアが掌握され、シリア政府がそれを防ぐ手段を持っていなかったかという点です。そして、デジタルテロ、ソーシャルメディア上のテロがどのようにして社会全体を麻痺させたかです。これを説明する方法は、いくつもあるでしょうが、時が来るのを待ちましょう。これらすべては、自由、独立、そして私たち南の人々にとっての世界のために戦う私たちにとって、非常に重要な教訓を残しています。それは、民主的で深い国家を、国民と連帯のもとで構築すること、そしてよく訓練され、準備された軍事力を強化することの重要性を教えています。また、ソーシャルメディアの運用についても多くの教訓を残しています。シリア社会は複雑です。ベネズエラには大きなシリア人コミュニティがあり、深い友情と大きな尊敬があります。シリアの人々は、文明の発祥地の一つであり、ティグリス川とユーフラテス川の間、現在のイラクやシリア、エジプトといった素晴らしい土地で文明が生まれました。その地域には世界の驚異があります。その近くにはペルシャ文化、パレスチナの聖地、レバノン、そして私たちの主イエス・キリストがいた土地があります。この地域は、人類的、文明的、文化的、宗教的な観点から見ても素晴らしい歴史を持っています。私たちが望むのは、この地域が、自らの道を見つけ、自らのモデルを確立することです。そして、それは、そう遠くない未来に実現するでしょう。今日、つかの間の勝利を喜んでいる人々は、後悔するでしょう。なぜなら、シリアの人々は、私たちがよく知る素晴らしい人々であり、深く、千年の歴史を持つ力を秘めているからです。その人々を服従させたり支配したりすることはできないでしょう。あなたもその時を見ることになるでしょう。

イグナシオ・ラモネ：大統領、数週間前、アゼルバイジャンのバクーで、近東からそれほど遠くない場所で、COP-29、気候変動に関する世界サミットが閉幕しました。私は、コペンハーゲンでの気候サミットに大統領が出席されたのを覚えています。気候サミットの結論の一つは、温室効果ガスの排出、特に化石燃料、石油、ガス、石炭による排出を削減しなければならないということです。そこで質問です。大統領が今すぐに思い出された

ように、石油資源の大生産国であるベネズエラは、気候変動を抑制するための集団的な取り組みにどのように貢献しようと考えていますか？

ニコラス・マドゥーロ：貢献すべきなのは、最も多く消費している国々、アメリカやヨーロッパ諸国です。彼らは気候を破壊し、コペンハーゲン以降、カーボンクレジットのようなものを作ろうとしましたが、それは欺瞞的で偽りの提案でした。欺瞞の外交でした。彼らは、北で自分たちが引き起こす汚染の代償を支払うためにカーボンクレジット基金を作ると提案しましたが、私たち汚染していない国々には何も恩恵がありませんでした。ベネズエラは、温室効果ガスの重要な排出国ではありません。

イグナシオ・ラモネ：むしろ、アマゾンの森全体が酸素の生産者です。

ニコラス・マドゥーロ：そうですね。さて、人類は間違いなく、汚染を引き起こさないエネルギーの形態に向かって進む必要があります。その点で、私たちは全面的に取り組んでいます。私たちの政府の最高レベルの科学者たちは、脱炭素化された形態でエネルギーを生産し、電力を供給する方法に向けて進んでいます。現在、私たちは電力の75%を水力発電で賄っていますが、この割合は今後数年でさらに増加するでしょう。また、太陽光発電、いわゆるフォトルタイックエネルギーにも投資しています。この技術は、太陽によって生み出される超クリーンなエネルギーであり、電力を生産するソーラーパネルが急速に進化しています。

私は、人類が現在、汚染を引き起こさない代替エネルギー生産の形態に向けて、大きな一歩を踏み出す準備が整っていると思います。最近、私たちの副大統領デルシー・ロドリゲスが、中国を訪問し、いくつかの都市で見せられた技術には驚かされました。ラモネさんも、驚きますよ。

イグナシオ・ラモネ：エネルギー生産に関してですね。

ニコラス・マドゥーロ：そうです。たとえば、中国は車両分野で大きく進歩しています。直接的な太陽エネルギーで動く車両を開発しており、充電する必要さえありません。私たちは、すでに、中国の電気自動車製造企業の一つと交渉を進めており、ベネズエラで電気自動車を組み立て、太陽エネルギーを活用する車両を生産する計画を進めています。

技術が可能にする素晴らしいことがたくさんあります。また、私は、最近、若者のグループに説明しましたが、再生型農業についても重要です。これは、アフリカのいくつかの地域で実施されており、完全に荒れ果てた土地や乾燥地帯を回復するためのものです。同時に、アマゾンのような森林地帯を守り、すでに砂漠化した地域を再生し、緑の再生プロセスを通じて微小な生態系を強化していくことで、150年間にわたり資本主義の略奪的行動が河川、森林、海、そして環境全般に与えた甚大な被害の負担を均衡させることが可能になると信じています。これが私たちの優先的な行動方針の一つです。

イグナシオ・ラモネ：大統領、ウルグアイでは、昨年 11 月 24 日、拡大戦線のヤマンドゥ・オルシ候補が第 2 ラウンドの選挙で勝利しました。ウルグアイで左派が政権を握ったことで、ラテンアメリカで左派政党が統治する国は 11 カ国になりました。一方、先日、チャベスとフィデル・カストロが創設した地域統合機構である ALBA の 20 周年記念式典が行われましたが、今日の地域統合の問題をどのように見えていますか？ ラテンアメリカに以前よりも左派政権が増えたことで、地域統合の問題はより迅速に前進できると思いますか？

ニコラス・マドゥーロ：今起きているこの新しいプロセスは、右翼、寡頭政治、社会的ネットワークによって生み出された代替案が、早期に急速に、予想以上に消耗してしまったことによって説明できると思います。まさに大きな消耗です。では、彼らが一部の社会民主主義的、いわゆる進歩的な方策が行き詰まった後に生み出した代替案とは何でしょうか？それはファシズムです。ミレイとは何か？それは、試みられたモデルが失敗したことに対する極端な反応なのです。

イグナシオ・ラモネ：新自由主義。

ニコラス・マドゥーロ：新自由主義の限界の中にまだあります。そして、ミレイは、アルゼンチン国民にとって代替案となり得るのでしょうか？ミレイ、その狂気、演技的な態度、極端主義、国民に対する冷酷な無関心、国家やアルゼンチン経済の破壊を目指すモデルが、アルゼンチンの代替案となり得るのでしょうか？答えは「いいえ」です。決してなりません。したがって、アルゼンチンには、進歩的なアイデア、社会正義、平等、より多くの民主主義を含むアルゼンチン独自の代替案が必ずや登場するでしょう。それは、すべての国で起こっていることです。私は、進歩的な運動が迎えた最初の春が多くの教訓を残したと考えています。それを私は、間近で体験しました。当時、私は、チャベス司令官の外相を務めており、私たちの指導者とともに最初の春が成長するのを見守っていました。2004 年に ALBA（米州ボリーバル同盟）がどのように誕生したのか、ペトロカリベがどのように生まれ、ALBA とペトロカリベの強化が大陸の人々をどのように救ったのか、視覚回復計画がどのようにして私たちの大陸の 800 万人以上の貧しい人々を支援したのか、識字教育プログラム「私もできる」や医療計画がどのようにしてすべての国民に恩恵をもたらしたのか、そしてペトロカリベがいかにして 18 の国家を実質的に安定させたのかを目の当たりにしました。また、フィデルとチャベスの連携から始まった ALBA がどのように拡大し、サンディニスタ戦線とダニエル・オルテガ司令官の復帰、ボリビアでのエボ・モラレスの勝利、エクアドルでのコレアの勝利、ルーラの勝利、ネストル・キルチネルとペロン主義の登場という驚き、そしてネストル・キルチネルの勇敢で決意に満ちた変革的なリーダーシップ、タバレとペペによるウルグアイの広範戦線の台頭、エルサルバドルでのファラブンド・マルティ民族解放戦線の到来、そしてメル・セラヤ大統領の ALBA への参加などが、どのように実現したのかを見ました。これらはすべて、政治的多様性の

中での団結と、指導者や国家プロジェクト間の相互尊重を特徴とした最初の春の成果でした。もちろん、意見の違いは常にありますが、チャベス司令官と当時の指導者たちの指導の下、UNASUR（南米諸国連合）の誕生を可能にした共存のレベルが達成されました。2007年4月17日、マルガリータ島でUNASURの概念が誕生した日を、私ははっきり覚えていますが。そこには、ペルーの右派大統領であるアラン・ガルシア（故人）や、コロンビアの極右パラミタリー指導者アルバロ・ウリベ・ベレスも出席していました。これは、左派の進歩的運動と大陸の他のイデオロギー間の多様性の中での団結を示しています。2011年12月2日と3日、カラカスでは病気のチャベス司令官が治療を受けながら、CELAC（ラテンアメリカ・カリブ諸国共同体）が設立されました。これは、メキシコからパタゴニア、そしてカリブ海全域に至る33のラテンアメリカ諸国が初めて団結した瞬間であり、シモン・ボリーバル解放者のアンフィクティオン会議の偉大な夢が実現したと言えるものでした。

したがって、この最初の春の教訓を、現在起こりつつあることに活かしましょう。寛容、理解、そして何よりも、カリブ海を含むラテンアメリカを統一し、21世紀の残りを歩むための力強いブロック、連邦、国家と政府の連合を構築する必要性を深く理解することが重要です。ラモネさん、陰謀が多いのです。良い左派と悪い左派、良い進歩主義と悪い進歩主義を分けようとする陰謀です。それを脇に置き、顔を合わせ、ラテンアメリカとカリブ海の統一のための明確な計画を持ちましょう。

イグナシオ・ラモネ：大統領、先日、アメリカの次期大統領であるドナルド・トランプが、リチャード・グレネル氏を特使に任命し、特にベネズエラとの関係を担当させると発表しました。この動きについてどのようにお考えですか？

ニコラス・マドゥーロ：良いと思います。アメリカのドナルド・トランプ次期大統領がホワイトハウスに着くことを期待しましょう、と。

イグナシオ・ラモネ：1月20日に。

ニコラス・マドゥーロ：そして、ホワイトハウスに到着したら、どうなるか見てみましょう。もしあなたが私に、「21世紀のボリーバル主義の政策とは何か？」と尋ねたなら、私たち21世紀のボリーバル主義者として、私に指導者チャベスが教えてくれた政策とは何か、そして私がアメリカと実践してきた政策とは何かを答えます。それは対話、尊重、理解です。この大統領の椅子に座っているのは、これまでの経験を持つニコラス・マドゥーロ・モロスです。そして常に、新たなページを開き、アメリカ政府、アメリカ社会、そしてベネズエラ全土の人々との尊重、対話、協力の関係を築く準備ができています。だから、願わくば、それが私たちの関係の方向性であり、運命であることを願っています。

イグナシオ・ラモネ：もしグレネル氏がカラカスに来たら、大統領は彼を受け入れますか？

ニコラス・マドゥーロ：まず、ドナルド・トランプがホワイトハウスに到着するのを待ちましょう。そして、その後で考えます。

イグナシオ・ラモネ：分かりました、大統領。最後の質問です。今日の国際情勢は非常に懸念されています。いくつかのテーマについてはすでに話しましたが、目の前でガザにおいてジェノサイドが行われています。15 カ月以上続いており、誰も何もしていません。戦争は激化しています。中東だけでなく、レバノン、シリア、イエメン、そしてアフリカ、スーダン、サハラ、コンゴでもです。不平等、移民、気候問題、これについても、私たちは、ここで触れました。世界中の市民の一般的な感覚として、国際的な権威が存在しないというものがあります。世界は指導者も使い方もないまま動いています。国連システムや国際機関を信じ続ける理由はあると思いますか？

ニコラス・マドゥーロ：私は、今が過渡期だと考えています。何世紀にもわたる覇権的で帝國的な世界からの過渡期です。千年にも及ぶと言えるかもしれません。しかし、特に私たちが今知っている世界は第二次世界大戦から生まれたものです。1990 年代には大きな変化がありました。大国であったソビエト社会主義共和国連邦と実際の社会主義の世界は、実際には現存社会主義でもでもなく、何もないものでしたが、崩壊しました。今では新しい力関係が生まれています。21 世紀の超大国は、中華人民共和国です。他の超大国としては、ロシア連邦があり、インド、かつては「バーラト」と呼ばれた伝説的な国で、私が非常に愛しているインドの人々も超大国の一つです。これらは最も重要な三つの超大国であり、先進的な中規模の勢力として、イラン・イスラム共和国、サウジアラビア、アラブ首長国連邦、トルコなどがあります。

イグナシオ・ラモネ：南アフリカ共和国もですね。

ニコラス・マドゥーロ：はい、南アフリカも。これらは発展途上の中規模勢力です。そして、アフリカでは独立した国や地域が出現しています。アフリカは未来の力を持つ大陸であると言われていています。経済成長を遂げるでしょう。その最前線にはエジプト、チュニジア、アルジェリアなどの重要な国々があります。

イグナシオ・ラモネ：エチオピアやナイジェリアも含めてですね。

ニコラス・マドゥーロ：エチオピア、ナイジェリア。フランスの旧植民地の脱植民地化の過程、そして新たに出現している軸。ラテンアメリカでも同様です。ブラジルがあります。ブラジルは、大陸の国であり、南アメリカおよびラテンアメリカの大国になる運命にあります、それはもう避けられません。メキシコもそうです。メキシコは素晴らしい指導者を持っており、ロペス・オブラドール大統領は 6 年間素晴らしい指導者でした。今はクラウディア・シェインバウム大統領という素晴らしい指導者がいます。ですので、世界の力の再配置、力の相関関係が進んでいます。そしてそれは、私たちが持っている多国間機関、国連にも影響を与えています。現在、国連は深刻な疲弊の過程を経験しています。と

いうのも、西洋の帝国は、軍事力と軍事技術を使って世界を脅かし、世界を攻撃し、一般的に紛争を作り出そうとしているからです。ウクライナとロシアの紛争、パレスチナ人民に対する虐殺（これは戦争ではなく、フランシスコ法王が言ったように、ジェノサイドです）、レバノン人民に対する虐殺、現在シリア人民への爆撃、イラク、イラン、ヨルダン人民に対する潜在的な脅威…。

イグナシオ・ラモネ：イエメンにも。

ニコラス・マドゥーロ：イエメンにも。ですので、再配置が進んでいます。この時期から何が生まれるか見てみましょう。私たちは、国際法を信じており、国連の仕組みがアメリカ合衆国や西洋のグローバル帝国の利益を助けるために使われることを告発しています。そして、私たちは、戦っています、誰も疲れてはいけません。最終的には普遍的な価値観、国際法が勝ち、最終的には世界の人民の利益が勝つと確信しています。しかし特に、この道の終わりには、南半球の人民の歴史的な権利、歴史的な遺産が、勝つでしょう。ですので、私たちは今、過渡期にあり、非常に厳しい力の闘争の中にいることを理解しましょう。私たちの人民を守る大きな原因を抱きしめ、ベネズエラからはボリーバルと共に、世界の均衡に向かって進みましょう。私たちは、自分たちのアイデンティティを持ち、計画を持ち、ベネズエラ人、ラテンアメリカ人、カリブ人であることを誇りに思いながら存在できる世界を目指します。ですので、歴史的な遺産には未来を理解し、私たちに属する未来を掴むための多くの要素があります。

ラモネさん、チャベスが、私たちに 30 年前、ちょうど 1994 年 12 月のこの時期に言っていたことを思い出します。私たちは未来に向けたアイデアを練っていたとき、彼は「多極的な世界」について話し始めました。その時、私たちはとても若かったので、彼の言う「多極的な世界」という概念に驚きました。そして、彼は街に出て、街から街、広場から広場へと出かけると、人民に向かって言っていました。「私たちは 20 世紀を奪われ、19 世紀も奪われた。しかし 21 世紀は私たちの世紀であり、多極的な世紀になるだろう」。ここに私たちは戦いの真っ最中にいます。これは私たちの世紀であり、誰にも奪わせません、その確信を持ちましょう。

イグナシオ・ラモネ：大統領、ありがとうございます。そして、再度、ベネズエラの皆さんに新年のご挨拶を申し上げます。

ニコラス・マドゥーロ：ありがとう。新年おめでとうございます。

イグナシオ・ラモネ：それでは、来年もまたお会いできることを楽しみにしています。再度お受けいただけますか？

ニコラス・マドゥーロ：もちろん、ここではいつでもお役に立ちたいと思います。そして、ネットやメディアを通じて私たちを見ている皆さんにご挨拶します。ここベネズエラでは常に、戦いと勝利の中にいます。

イグナシオ・ラモネ：ありがとうございました。

ニコラス・マドゥーロ：ありがとうございました。

(新藤通弘訳)